

|           |  |   |         |    |    |
|-----------|--|---|---------|----|----|
| 科目名       | 管理会計論／管理会計   | 単位数                                       | 2単位     | 学期 | 後期 |
| 担当教員      | 山下 功   |   | 実務経験の有無 |    | ○  |
| 科目区分      | カリキュラムマップを表示する   | 関連するディプロマポリシー                             |         |    |    |
| ナンバリング    | X-31-B-2-440018  | 経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること |         |    |    |
| 授業の目的     | 管理会計は「経営に役立つ会計」であり、企業の目標を達成するために会計情報を認識、測定、集計、分析、解釈する一連のプロセスです。それゆえ、財務会計が企業外部への報告を目的とするのに対して、管理会計では内部報告目的が重視されます。また、コンピュータの性能と通信技術が発展したことにより、経営情報システムと会計との結びつきが一層強くなっています。この授業を履修することによって、管理会計の基本的な知識を習得することを目的とします。 |   |         |    |    |
| 学修到達目標    | 管理会計の基本的な知識を習得できる。<br>管理会計の知識を用いて、業績評価や意思決定ができる。   |   |         |    |    |
| 実務経験との関連性 | 上場企業で経理業務・会計情報システム構築などに従事した教員が、実務経験を基に会計情報の活用方法についての講義を行っています。   |   |         |    |    |

| 授業計画 |  |
|------|--|
| 第1回  | 管理会計とは<br>(会計情報の役割、財務会計と管理会計の違い、管理会計の2分類 など)   |
| 第2回  | 標準原価計算と原価統制(1)<br>(原価の分類、標準原価計算の目的、原価標準の設定 など) |
| 第3回  | 標準原価計算と原価統制(2)<br>(標準原価差異の算定、標準原価差異の原因分析 など)   |

|      |   |
|------|---|
| 第4回  | 直接原価計算とCVP分析(1)<br>(原価態様、変動費と固定費、損益分岐点の計算 など)                         |
| 第5回  | 直接原価計算とCVP分析(2)<br>(CVP分析の事例の比較、原価態様がリスクとリターンに与える影響、損益分岐点比率と安全余裕率 など) |
| 第6回  | 予算管理と短期利益計画<br>(予算の機能、予算編成の手順、予算の問題点 など)                              |
| 第7回  | 事業部制と責任会計<br>(責任中心点の種類、職能制組織と事業部制組織、事業部の業績評価 など)                      |
| 第8回  | 前半のまとめ  |
| 第9回  | 個別計画意思決定(1)<br>(特殊原価の種類、埋没原価とリアル・オプション、個別計画意思決定の欠点 など)                |
| 第10回 | 個別計画意思決定(2)<br>(機会原価の考え方、機会原価と機会損失、個別計画意思決定の例題 など)                    |
| 第11回 | 設備投資意思決定(1)<br>(貨幣の時間価値、割引、加重平均資本コスト率(WACC)、正味現在価値法(NPV) など)          |
| 第12回 | 設備投資意思決定(2)<br>(内部利益率法(IRR)、回収期間法(PP)、評価方法の共通の欠点 など)                  |
| 第13回 | 経営情報システムと会計<br>(ERP、XBRL、AIとRPA、情報システム投資における効果 など)                    |

|      |         |
|------|---------|
| 第14回 | 後半のまとめ  |
| 第15回 | 管理会計の実務 |
| 第16回 | 期末定期試験  |

| 授業時間外の学習  |  |
|-----------|--|
| 【予習】時間・内容 | 教科書を事前に読み、予習ノートに記入します。<br>90分の授業1回当たり、予習と復習を合わせて180分が必要です。                         |
| 【復習】時間・内容 | 復習テストを自己採点し、不正解の問題を解き直します。また、必要に応じて教科書を読み直します。<br>90分の授業1回当たり、予習と復習を合わせて180分が必要です。 |

| 成績評価      |                                     |
|-----------|-------------------------------------|
| 評価基準・方法   | 期末定期試験90%、授業中などに実施する復習テスト10%で評価します。 |
| フィードバック方法 | 復習テストの模範解答を示します。                    |

| アクティブラーニング |  |
|------------|--|
| 実施の有無      | ○  |
| 実施内容       | 反転学習   |
| 教科書/参考書    | 拙著『管理会計論 教科書 2021年度版』『管理会計論 予習ノート 2021年度版』を使用します。<br>本学Webサイトの教育オープンリソースからダウンロードしてください。<br><a href="https://www.nuis.ac.jp/pub/ed_open_source.html">https://www.nuis.ac.jp/pub/ed_open_source.html</a> |
| 受講上の留意点等   | 事前に簿記の知識を必要としません。<br>授業で計算問題を解くことがありますので、電卓を持参してください。なお、期末定期試験では、使用できる電卓が制限されます。   |
| JABEE      |  |